

# 令和4年度 群馬県企業局経営基本計画委員会 会議結果の概要

日 程：令和4年6月24日（金） 午後1時30分～

場 所：県庁28階 企業局第二会議室

出席者：（委 員）

伊勢委員、宇野委員、須藤委員、八田委員 計4名

（企業局）

企業管理者、企業局長、本局各課長、施設管理室長 計8名

内 容：第2次群馬県企業局経営基本計画の令和3年度進捗状況の評価に対する外部有識者からの意見聴取を実施したもの。

## 1 開 会

## 2 あいさつ（企業管理者）

## 3 議 事（進行：宇野座長）

### （1）令和3年度群馬県企業局の決算について

資料1に基づき総務課長が説明。

### （2）群馬県企業局経営基本計画の進捗状況の評価について

資料2に基づき経営戦略課長が説明。

## 4 質疑応答（進行：宇野座長）

### （1）令和3年度群馬県企業局の決算について

### （2）群馬県企業局経営基本計画の進捗状況の評価について

## (電気事業について)

### ●委員意見 1

資料1について、令和3年度と令和2年度の比較で資料を作成されているが、経営基本計画の数値と比較できるようにしていただくとありがたい。

### ●委員意見 2

板倉ニュータウンの水素はどれくらいのコストを見込むのか。

八ッ場発電所のプロジェクションマッピングは現地に行かなければ見られないのか。

### ○経営戦略課長

板倉ニュータウンの水素については、概算ではあるが、10億円程度を見込む

### ○企業管理者

プロジェクションマッピングは現地だと音もあり、迫力が違う。GW前に一般公開することを目標として実施した。現在は、入場者に動画は撮らないようお願いしている。SNSで広まってしまうと現地に行かなくなってしまうという懸念がある。まずは一般公開というところから始め、どのようにプロモーションをしていくかを考えていきたい。簡単に動画で見られたりなどはあまり考えていない。

### ○委員意見 3

プロジェクションマッピングは現地の方がよいのか。みなかみで実施しているものは動画の方が写りが良くきれいな印象である。

### ○企業管理者

実機に投影することによる立体感や、実際に動いている水車の音などで迫力がある。

### ●委員意見 4

SNSの影響力は大きい。一般の方が撮影し、動画を投稿することでより広がっていくのではないかと。動画を見たから行かないということにはならないのではないかと。

口コミなどで広げる方が、メディアプロモーションを検討するよりも早くて安く効果的だという印象がある。

### ○企業管理者

貴重なご意見ありがたい。先に撮影を認めてあとから禁止にはできないため、慎重に考えている。実際に、写真などを掲載した口コミなどはあり、ほかの会社の発電所では撮影もできないところもあるので、好評ではある。

知事からはアートと合わせてはどうかという意見もあり、さまざまな意見を参考にしつつ進めていきたい。

何が目的かということも重要であり、企業局のPRをするのか、群馬県のPRをする

のかなども含めて検討をしていきたい。

●委員意見 5

新規水力発電所の新規開発には金額や環境破壊などの面があるが、個人のマイクロ水力などに支援するなどは考えられないか

○発電課長

検討している新規発電所は規模が小さいため、採算性が悪い箇所が多く、また、地元市町村や、既水利権者との調整なども必要と課題が多いが、企業局として、できることを進めていきたい。

○企業管理者

企業局はこれまであまり小さい発電所は進めていかなかったが、これからは小さいところも含めてやっていく姿勢ではある。職員にも小さい情報でも収集するよう指示するなどを心がけている。

(工業用水道事業について)

●委員意見 6

水の温度については、契約企業によって決まりがあるのか。

○水道課長

現在でも、取水した段階で25～6℃で、浄水処理の過程で温度が上がってしまうこともあり、28℃以下が厳しい時もある。運転開始時は想定されていなかったが、地球温暖化の影響もあるかもしれない。

●委員意見 7

規定があることを知らなかった。水の温度はあまり関係ないという印象であった。

○水道課長

現在でも、取水した段階で25～6℃で、浄水処理の過程で温度が上がってしまうこともあり、28℃以下が厳しい時もある。運転開始時は想定されていなかったが、地球温暖化の影響もあるかもしれない。

(水道事業について)

●委員意見 8

増量の協議についてはどのような状況か。

○水道課長

若干の増量ということで進めている。

(団地造成事業について)

●委員意見 9

板倉ニュータウンについて、旅館の方に板倉ニュータウンのチラシ配りの依頼があったことを思い出した。今リモートが主流となってきたところがあり、売れるのではないか。

●委員意見 10

産業団地について、売れなければならないというのは理解するが、東毛地域に偏っていないか。電力や工業用水との関係で東毛地域になってしまうのか。

○団地課長

現在調整中であるため場所を言うことはできないが、今後の計画では東毛地域ではない箇所も検討している

○企業管理者

補足であるが、東毛地域は水の融通がしやすいという点はある。甘楽にめんたいパーク群馬が入ったが、水はあまり必要とされなかった。一般的には企業進出に水が必要である。西毛や北毛で、無理に水を引いてまでやるのかという話もある。ただし、必ずしも水を必要としない企業もいるため、そのあたりを見極めながら進めていきたい。

●委員意見 11

板倉ニュータウンの水素について、どのような射程で進めるのか。売るための取組か、政策的に広がりがある取組にするのか。

○経営戦略課長

もともと電気事業の中で水素に取り組みたいという方向性があるなかで、企業管理者等含め検討し、板倉ニュータウンと組み合わせることとなった。ニュータウンに付加価値を付けるといった面もあるが、水素を取り組むという面もあり、今後どのように進むか具体的な展望は見えないものの、進めていくなかで周辺の動きも見ながらやってきたい。

○企業管理者

プロモーションと広がりの方の面がある。実際に水素とマイクログリッドでは採算はとれない。ただ、検討だけでなくやってみて、見ていきたい。水素を調達するのに内陸は厳しい部分があるので、地域の中でうまく回せるような取組として進めていきたい。

●委員意見 12

横展開は簡単ではないが、公営企業として、シンボリックな取組として見せていくのもいいのではないか。

○企業管理者

公営企業の強みとして、ほかの公営企業がどうやっているかなどを共有できるところがあると思っており、山梨県が先進的に取り組んでいるので、参考にしつつ、同じことをなぞるのではなく群馬県として進めていきたい。

●委員意見 13

板倉ニュータウンについて、東洋大学があるときは学園都市というイメージであったが、東洋大学が撤退となったときに、水素が新しいイメージとなると思うので、進めていってもらいたい。

藤岡 I C 西地区について、配送センターは夜間配送などで難しいところがあるが、離れたところで広い土地が確保できるのは良いことだと思う。

(施設管理事業について)

●委員意見 14

ゴルフ場は結論とすると新型コロナは関係なかったということか。

○施設管理室長

密になりにくいスポーツとして全国的に知られるようなこととなり、人気が高まった。ただし、令和2年度の緊急事態宣言時は休業もしており、今までと利用者数が変わらない月もある。

今の状況は特需とみているところもあり、今後ほかのレジャーが元通りになったときはどうなるかはわからない。ただ、昨今のゴルフ人気により利用者を確保することは出来た。

○企業管理者

ゴルフ場でのパーティや大規模なコンペなどはコロナの状況で自粛した。その状況で増えている。

●委員意見 15

団塊の世代がゴルフをしなくなったときが大変になるのではという心配もある。

○企業管理者

あり方検討委員会の中で、各ゴルフ場の客層や目的が異なることが分かったので、それぞれのニーズに合わせて、運営していきたい。

(全事業共通の取組について)

●委員意見 16

市町村に対する支援というのはどのようなものか。県への相談は敷居が高いという認識がある。

○発電課長

電気事業では、市町村で水力発電をしたいが、やり方が分からないと言った時に助言をしたり、水力発電所の維持についてアドバイスをしている。実際に4箇所ほど発電所も建設されている。

●委員意見 17

どのように窓口でくるのか。また、どのような相手方がくるのか。

**○発電課長**

ホームページに小水力に対する支援を行うと掲載し、補助金などについてはグリーンイノベーション推進課に窓口がある。くるのは市町村の環境部局である。

**●委員意見 18**

企業局では用水供給事業も実施しているので、水道局などとのつながりも含めて、支援していけばより良いのではと感じた。

**●委員意見 19**

企業局でどのような支援をしているかなどが、市町村や民間で周知されていないと感じる。

**○企業管理者**

県内市町村でも付き合いに濃淡がある。発電所や団地の所在地などである。一方、付き合いがどうしても薄い市町村もあるため、満遍なく支援等を行えるよう心がけていきたい。

**●委員意見 20**

DXの取組で空中ドローンや水中ドローンを導入したということだが、日常の保守点検は委託しているのか。技術の職員がやっているのか。

**○発電課長**

日常の保守点検は技術職員が行っている。トラブル等の際はメーカーの対応となる。

**●委員意見 21**

正田醤油スタジアムで試合を観戦したが、そういった際にダムカードを配るなど、そういった取組で周知していくのも良いのでは。

**○企業管理者**

我々の取組の周知が足りていないことを痛感した。そちらには疎いところがあったため、今後より意識していきたい。

**(3) その他**

**●委員意見 22**

ごみ焼却を利用した発電をしているとのことだが、相模原市ではごみを蒸し焼きにして貴金属を取り出すという取組をやっており、そういった取組も良いのでは。水素については、民間の知恵なども活用し、よりPRしていってほしい。

**○企業管理者**

お役所的な回答で申し訳ないが、企業局ではごみ焼却が行っていない。高浜は高崎市のクリーンセンターの蒸気をもらっている状況。ただ、情報は共有したい。板倉については、民間からすると水素に取り組む場がないということもあり、その場を提供するという一方で、民間もこちらウィンウィンの関係が築けるのではと思

っている。

## 5 閉会